

持続可能な 共生社会に向けて

～検証「子ども・若者の参画」それぞれの10年

『子どもの参画』日本語版の刊行から10年を迎えた。この間、子ども・若者の参画の取り組みは確実に漸進している。10年を経た日本ならびに国際的な視野から理論と実践の検証作業を試みようというのが、フォーラム企画の趣旨である。ところが、現下の日本の子ども・若者の現状は、人類史的に見て、生存発達権レベルだと警鐘する人々までいる。種の存続は断たれてしまい、持続可能な社会を見通せないという危機意識があらわとなっている。

今回の企画は、こうした子どもを取り巻く環境の憂慮に対する共有を迫られたなかでの振り返りフォーラムである。これまで参画を真正面にすえてきた方、あるいはさまざまな領域から、この参加・参画を意識してきた方々と一堂に会し、意見を交わし、議論を深め、現在の課題と今後の展望を見い出せる機会としたい。



日時 2011年**3**月**12**日(土)
スペシャルトーク 10時半～ / 第1部 13時～
開場 10:15 開場 12:45

場所 千代田区 麹町区民館
参加費 1,000円 (18歳まで無料)
定員 40名 (先着順/要申込)

主催 子どもの参画情報センター/フォーラム実行委員会

書籍紹介：子どもの参画

子どもの参画について深く掘り下げ、指針を与えてきた世界的な名著。ユニセフのプロデュースにより、世界各地の豊富な事例を提示。子どもの参画の理論とその具体的な方法論をまとめ、地球環境の持続可能な社会の有り様と子どもの発達との関連を考察した21世紀の共生社会の展望を拓くうえで欠かせない画期的な一冊である。

全216ページ/萌文社/2000年10月発行/ISBN:978-4894910126



●フォーラム実行委員：木下 勇、吉永真理、茂木昌克、喜多野由希、上平泰博、森本 扶、永島憲一郎、青木沙織

子どもの参画情報センター (ICCP: Information Center for Children's Participation) ……子どもの参画に関する情報の「受け皿」として、また「発信する場」として、2001年12月に設立。さまざまな立場の実践例から、子どもの参画について具体的に掘り下げ、課題を整理し、私たちの文化や社会における方向性を見出していこうと活動を続けています。設立のきっかけは、ロジャー・ハート氏の著書『子どもの参画』の日本語版出版(2000年10月)。

※国連・子どもの権利条約には、子どもの意見表明権が謳われ、社会と積極的に関わること(子どもの参画)が「権利」として認められています。

10:30
～12:00

Special Talk — 特別トーク

監修者のひとり南博文氏に代って、九州大学人間環境学研究院（南研究室）の学術協力研究員の山下智也さんにご登壇いただきます。Rハートの「子ども参加論」に、自説「子どもの地域への浸着論」を対置させながら新たな参加論に挑みます。

実践・論文の発表（30分+30分）、フリートーク30分 司会進行：森本 扶（埼玉大学）

山下智也さん

九州大学 / 箱崎きんしゃいきやんばす代表論文『子ども参加論の課題と展望—ロジャー・ハートの「子ども参加論」を乗り越える—』、実践「箱崎きんしゃいきやんばす」を通して、おとなの存在と子どもが主体的になっていく様相について語る。

13:00
～17:00

開式あいさつ …… 奥田陸子
(前IPA日本支部代表)

第1部 — リレートーク

子ども・若者の参画にさまざまな立場から関わる気鋭の8人によるリレートーク。実践家、研究者、どちらか、あるいは両方に軸足を置きながら、多彩な活動を展開されている方々が、単に活動報告ではない「10年の検証」と「次の10年への課題」を見据えて、それぞれの「参画論」を熱く語ります。持ち時間はおひとり15分。質疑応答は第2部の分散会で思う存分集中して行う予定です。

司会進行：木下 勇、吉永真理（昭和薬科大学）

木下 勇さん

千葉大学園芸学部 教授 / ICCP 代表
ユニセフ「子どもに優しいまち」を始めとするいくつかの取り組みを通して、参画に関する世界的動向を整理し、次の10年を示唆する。

keyword：子どもの優しいまち / 海外の子ども施策

とけし 渡慶次康子さん

市川子ども文化ステーション 理事長
異年齢の文化的な参画活動を通して自己肯定感を育む実践（とくに「子どものまち」事業）から、子どもがコミュニティの仕組みを学ぶ意義を報告する。

keyword：子どものまち / おとなのかかわり

星野 諭さん

コドモ・ワカモノまちing 理事長
「移動式子ども基地」により、各地で創作遊びやワークショップなどに取り組む。子ども・若者が主体的にまちへ参画するための環境づくりについて報告。

keyword：遊び / まち / 感育

荒田直輝さん

プレイソシヤルワーカー
「遊び」が持つ特性を活かして、子どもと社会をつなぐ直接的・間接的支援＝プレイソシヤルワークを開発。2010年の虐待防止への参画のサポートを解説する。

keyword：プレイソシヤルワーク / 虐待

萩原建次郎さん

駒澤大学総合教育研究部 准教授
子ども・若者の居場所づくりと社会的自立の視点から、居場所と参画の関係、また地域社会とおとなの果たす役割について提示する。

keyword：居場所 / 社会的自立

荒牧重人さん

山梨学院大学法科大学院 教授
全国各地の子どもの権利条例において、子どもの参画がどのように位置づけられているかを比較し、自治体における参画の進展を検証する。

keyword：子どもの権利条例

松島隆一さん

千葉市子ども未来局 課長
自治体における子どもの参画をゼロから立ち上げ、子どもたちとともに各種事業を実施。その中で見えた課題や新しい可能性を語る。

keyword：行政施策 / 子どもの参画条例

田中治彦さん

上智大学総合人間科学部 教授
青少年教育・開発教育・国際教育の立場から子ども・若者の参画の意義について語り、Rハートの「参画の梯子」についても問題を提起する。

keyword：青少年教育 / 開発教育

第2部 — 分散会

第1部で出た話題をもとに、グループに分かれてさらに議論を深めます。8人の話題提供を受けて、当日その場で2～3つのテーマを抽出し、テーマごとにグループ・ディスカッションを行う予定です。その場で選ばれた旬なテーマを、それぞれの思いを抱いて参加されている一人ひとりが意見を述べ合う活発な場となることを期待しています。

司会進行：木下 勇、吉永真理

懇親会

17:30
～19:30

丸一日にわたる話題提供や意見交換で未来に向けた新しい方向性が見えてきたのではないのでしょうか！一冊の本が投げかけた大きな輪をこれからもつないでいくために、最後は懇親会で立食形式にフリーに語り合う予定です。ぜひぜひご参加くださいませ！

参加費1000円、子ども500円

参加申込

※会場の都合で事前申込とさせていただきます。《定員40名》

名前 ※必須

住所 ※必須

TEL ※必須

Email

所属

FAX 03-3221-1038 / Email hobunsysa.naga@gmail.com

★求む！お手伝い・・・懇親会の準備をお手伝いして下さる方はぜひご連絡ください。お申込の際にお書き添えいただけるとうれしいです。

place 麹町区民館

住所：千代田区麹町2-8



お問い合わせ

ICCP子どもの参画情報センター 《萌文社内》

TEL 03-3230-1689 FAX 03-3221-1038

Email hobunsysa.naga@gmail.com (担当：永島)